

夏休みユニセフ教室

「親子で参加する外国コイン仕分け活動」を行いました

7月27日(土)みやぎ生協文化会館ウイズにて開催し、小学生親子など、ボランティアに約70名が参加しました。今年、石越町から小学生と保護者約20名も参加しました。社会福祉協議会の担当者が引率してくださいました。ユニセフがどのような活動をしているか学習したのち、コインの仕分けを行いました。初めて見るコインの数々におどろき、かなり集中して国ごとに仕分けしました。みなさんが数えたコインの枚数は9,669枚で日本円に換算すると115,188円。紙幣と合わせると合計245,769円でした。子どもたちは夏休みの1日、ボランティアとして大活躍でした。



宮城県庁 1階ロビーで写真パネル展示

7月16日～26日、宮城県と共催で展示を行いました。宮城県子育て支援課からは、「子育て支援を進める県民運動～地域全体で子育てを応援しましょう！」パネルと、『みやぎっこ通信』を展示しました。ユニセフからは、「東日本大震災支援2012」と新パネル「子どもにやさしい地球を残そう」を展示し、“子どもの権利を守る”という共通の願いを、県庁を訪れた方々にアピールできました。



南三陸町志津川小学校校庭に夜間照明設置

7月31日(水)夜、校庭にて贈呈式と点灯式が行われました。佐藤仁町長はじめ南三陸町関係者の方々、スポーツ少年団の子どもたち、そして、本施設の設置に向けて南三陸町を動かしたお父さんやお母さん方など約100名の方々が参加して、点灯を喜びました。震災前は、夜間照明を備えた松原公園でサッカーや野球の練習をしていましたが、津波で流出。長い間、不自由な思いをしていました。多くのみなさまのご支援が、スポーツ少年団の活動は



もとより、子どもたちや地域の方々の生活をまた一歩前に進めることができました。がんばれ！

こどもたち！

ユニセフ学習会 @迫町&東和町

7月25日：迫町、8月7日：東和町、登米市社会福祉協議会主催の小学生「福祉体験講座」の一つに「ユニセフ」が選ばれ、世界の子どもの様子やユニセフの活動などを知らせる機会がありました。日本での「あたりまえ」なくらいや学校で学べるのが、世界ではあたりまえではないことを知り、同年代のいろいろな国の子どもたちのことを気にかけることでしょう。それぞれの小学校ではユニセフの募金活動が活発に行われている地域です。



ボルヴィック <1L for 10L> のCMに 長谷部誠さんが！

汚れた水を飲まざるを得ない状況にある子どもたちの命や健康を守ることを目的に、毎年夏に実施している「1L for 10L」プログラム。ボルヴィックブランド全商品が対象で、お買い上げ1リットルごとにアフリカ・マリ共和国に清潔で安全な水が10リットル生まれます。日本ユニセフ協会を通じてユニセフマリ事務所に寄付され、井戸作りや壊れた井戸の修復、その後の10年間のメンテナンス、水と衛生に関する事業の支援活動に役立てられます。お水を買うなら、ぜひ“ボルヴィック”を！！